

「ご挨拶」

日本基督教団大阪教区日韓宣教協約特別委員会書記
牧師 樋口 洋一(日本基督教団久米田教会)



金鐘賢先生が所属しておられる在日大韓基督教会関西地方会と私が所属する日本基督教団大阪教区は、2014年9月28日に合同礼拝をもちました。

1984年に在日大韓基督教会と日本基督教団は、植民地支配と戦争の史実を直視しつつ、同じ主イエス・キリストの教会としていっしょに歩いていくのだという約束をしました。この宣教協約が結ばれてから30年の節目に、関西地方会と大阪教区は一つの場所に集ってみ言葉を聴き、聖餐にあずかる記念礼拝を捧げたのです。私も金鐘賢先生と共にこの合同礼拝の準備委員として奉仕させていただきました。準備の段階から先生のお仲間に加えていただき喜んでいました。当日の出席者は190名ほどだったのですが、3分の2は関西地方会からの参加者でした。しかしながら規模が大きいのは私たち大阪教区です。教会・伝道所の数では関西地方会26に対して大阪教区148です。圧倒的に小さい関西地方会の皆さんが、この合同礼拝により多く結集されました。合同礼拝とは言うものの、私たち大阪教区は関西地方会に助けていただいたわけです。準備の段階で予想していたことです。近年、大阪教区は総会と握手礼式の他は100名を越える集会がなくなりました。これが私たちの現実です。そんな状況で「大きな」教区が、「小さな」地方会に助けていただきました。感謝しないではられません。

ヘイトスピーチというのが横行しています。とんでもないことです。この在日大韓基督教会浪速教会と愛の家の働きを見たら、絶対できないことです。このような恩知らずなことをする日本人には、もはや未来はないと覚悟せねばなりません。日本基督教団の教職として、日本人キリスト者として本当に恥ずかしく、申し訳なく思います。



「ご挨拶」

在日大韓基督教会・関西地方会長 牧師 金必順
(在日大韓基督教団堺教会)



1996年から97年にかけての一年間、オルガンの勉強のためにイギリスのロンドンにいました。神様のお導きとしか言いようがないのですが、私が自由にオルガンを使わ

せてもらえる教会があり、その近くに下宿をしました。その教会では、ホームレスや難民のための支援が日常的に行われていました。教会のロビーの一角には、食料品、石鹸、タオルなどの日用品を集める箱が置かれています。そこに集められた品物は、月に一回、回収センターに運ばれ、そこでホームレスや難民に、必要に応じて品物が割り当てられてゆくのです。教会は、援助物資を集めるだけでは終わりません。教会の週報には、支援活動の報告が載せられ、難民に英語を教えるためのボランティア、食事作りのボランティアの募集のお知らせもありました。教会では、ホームレスや難民を理解するための学習会も度々開かれていました。

特に難民の場合は、カルチャーショックなどによる精神的ストレスも強いので、そのための牧会ケアもなかなか大変だと、その教会の牧師は話してくれました。大変だけれども、教会が何をしなければならぬのかを見据え、具体的・現実的に宣教課題に取り組んでいたのです。ホームレスの深刻な状態に対処するため、教会はあるプロジェクトを立ち上げました。そのプロジェクトとは、ロンドンの寒い冬の夜、外で寝るしかないホームレスに、教会の中で寝てもらおうという計画です。そのプロジェクトのため、近隣にある6つの教会と、教派を越えて協力することにしました。7つの教会がそれぞれ、一週間のうちの1晩をホームレスのために開放するのです。このことのためにも、食事や掃除のボランティアに加え、医療関係、法律関係のサポートも必要だということでした。教派を越えて、教会が協力し合う柔軟性と包容力。私たちは、いつそんなことができるのだろうか、と思ったものです。

「愛の家」は、ホームレス宣教に焦点をあてて、教派を越えた教会が協力している良いお手本になります。ほんとうは、各教会が取り組むべき課題であるのです。しかし、教会にホームレスを受け入れるのは、それほどたやすいことではないことを、私はよく知っています。主イエスの私たちへの最後の求めである「飢えている人、渴いている人、放浪の旅人、病気の人、牢に入れられている人」に手を差し伸べる宣教の業を、これからも共に担い合えることを願います。

宣教チームの訪問

今年の夏も恒例の宣教チームが来教しました。ハワイホノルル長老教会（7名）、釜山ヨンジェ第一教会中高生（22名）、群山豊山教会青年（12名）、イス中央教会（10名）、ジョンウップ充滿教会（6名）の5チーム



です。毎年、来教するチームは「愛の家」の活動を心に留め、来訪する度に日本の弱い人々を愛し宣教活動や奉仕をして下さいます。又、チームは何ヶ月も前から私達のために讚美・ダンスを準備し、失業者・野宿者に向け伝道集会を行って下さいます。この野宿者達に対しての深い愛と強い信仰心を持って奉仕して下さいますので、集会に参加した人々がみんな恵みに満たされ喜びながら帰って行きます。チームの日本への情熱的な宣教活動によって、イエス様を信じる人々が多く現われますよう、切に祈ります。同時に「来年も素晴らしい宣教チームを送って下さる様に」と神様に切に祈っています。

木曜伝道集会・日曜伝道集会

木曜・日曜集会には100名近くの失業・野宿生活者の方々が来られます。木曜集会ではAM. 9:00に入場し、支援者から頂いたコーヒーを飲みながらキリスト教関係のビデオを鑑賞しシャワー室を使用したりしてリラックスされています。礼拝の時間になると、姜貞淑師母、岡田修一兄弟(木曜担当)と平野真希執事(日曜担当)の三人の素晴らしい歌声の導きにより賛美を合唱し、礼拝へと進んでいきます。礼拝は毎週、各先生方が説教の奉仕をして下さいます。奉仕して下さいる先生方は当教会の金鐘賢牧師、申容燮副牧師を始め朴珍烈牧師(平野教会名誉牧師)・朴栄子牧師(豊中第一復興教会)・金景淑牧師(ホサナ教会)・全聖三牧師(布施教会)の各先生方です。多



くの兄弟達が礼拝を通して各先生方の恵み溢れる御言葉を聞き感動を覚えイエス様を信じる様に祈ります。9月には朴栄子牧師が説教奉仕の前に“落語”をしました。腕前はプロ並みで普段は笑顔の少ない失業者・野宿生活者たちも大きな声で笑ったりして笑顔で聞き入っていました。礼拝後は支援者から頂いた食材で調理された食事が提供され、参加者が共に交わりながら食事をしておられます。兄弟達が帰る時に支援者からいただいたパンや果実などをおみやげとして渡す時もあります。兄弟達は「ありがとうございました。」と感謝の気持ちで帰ります。これも支援して下さいた皆様方へのお礼の言葉だと私達は思っています。

金曜炊き出し会・衣類提供会

毎週金曜日には野外(西成公園)でのジャンボおにぎりと味噌汁を提供する炊き出し会を行っています。その日は早朝より準備に掛かりお米45kg程を使用し、ジャンボお握りを毎回200個程、奉仕者の皆様と共につくります。又、支援して下さったお米で作る時は感謝しながら握り、作業終了後は全員で賛美歌を歌い、炊き出しの場所へと出向きます。今年の8月、10月には阪神球団のマートン選手がたきだしを奉仕して下さいました。10月の時にはマートン選手の息子さんも来て下さいました。失業者・野宿生活者1人1人に声をかけて、笑顔での奉仕。野宿生活者の中にはマートン選手から手度しでおにぎりをいただくことに感謝し、震えている方もおられました。マートン選手の尊い働きに感謝いたします。又、炊き出しと同時に皆様から頂いた衣類を提供する週もあります。自分の求めていた物を見つけた時には、満面の笑みで感謝の言葉を言って帰られます。支援者の方々に心から感謝いたします。これからも暖かいご支援をお願いいたします。



聖書勉強会・洗礼者教育

今年も恒例の「聖書勉強会」と「洗礼者教育」が行われました。「聖書勉強会」は毎木曜日に10回にわたり、初級クラスは「新しい主の家族の道」(講師-姜師母)と中級クラスは「賛美と敬拝」(講師-金牧師)というテーマを持って2クラスに分かれて行われました。今回の初級クラスには今まで無信仰だった人達が多く参加されました。勉強会では全員が時間前に着席しテキストを片手に予習をし、講義中は講師の話をよく聞き、講義の内容を自分のものとする為、熱心に受講されていました。そして、殆どの人が最後まで欠席する事なく無事に卒業する事が出来ました。「洗礼者教育」も毎週木曜日に行われ、今回は4人が参加されています。いつも、洗礼を自ら受ける決心がつかず迷う人々が多い中で、今回は自ら「洗礼を受けます」と強い意志を持って教育に望まれていました。今年のクリスマス洗礼は4人が洗礼を受ける予定です。尚、今年のイースター洗礼式では2人の兄弟が洗礼を受けられました。

教会創立17周年記念礼拝

浪速教会は今年で17周年を迎えました。その記念礼拝が7月6日の主日に堺教会でピアノの奉仕をされている徐聖瓊執事を特別ゲストとしてお迎えし、おごそかに行われました。浪速教会は皆様も御存じの通り、この世の最も弱く貧しい人々を救う為に、金鐘賢牧師と姜師母との二人三脚で何も無いところから開拓伝道されました。最初は自分達も貧しい中、野宿者の為に食糧を分かち合いながら病人を看病し、弱者のために献身的に奉仕をされました。その姿を神様が御心に留めて下さり、大いなる祝福をこの浪速教会「愛の家」に与えて下さり、そしていつも暖かく御支援して下さいる全国の支援者の皆様方のおかげで、今日に至っています。これからも30年、60年、100年と浪速教会「愛の家」は弱者の為に奉仕できる様、金牧師、申副牧師、姜師母をはじめ信徒一同が心を一つにして奉仕させて頂く所存です。



「愛の家」の風景

www.ainoie.org

2014年度全信徒修養会

今年も恒例の全信徒修養会を8月25日から27日まで3日間の日程で京都府宇治市のアクトパル宇治の施設で行いました。今年は17名と多くの信徒が参加し、開会礼拝から始まり、午後の礼拝、夜の祈禱会、そして早天祈禱会、分担祈禱会・野外黙想会を行いました。祈禱会では姜師母による賛美の導きで賛美歌を大いに歌い、踊り、又、礼拝では金牧師の導きを通して御言葉を聞き、ともに祈り主との交わりの時を持つ事ができ、大変恵まれました。そして、祈禱会の合間には、神様が創造された大自然の山々の豊かさに恵まれて、施設の周りを散策しながら歩き心が洗われました。夕食時は野外バーベキューで美味しくいただきました。食後は施設の中でリラックスをし、日頃の疲れを癒しました。



「教会学校」大好きな子ども達！

今年も元気いっぱい子ども達が毎主日の教会学校に参加しています。礼拝では姜貞淑師母の導きで一人一人が大きな声で賛美し、御言葉を真剣に聞き、自分のため、友達のために祈っています。小さい子ども達が手を合わせ、心から祈っている姿を見ていると、私達が反対に恵みと勇気をもっている様な気がします。そして、今年もクリスマスで、失業者・野宿者の方々に発表する聖劇・歌・楽器演奏等を主日礼拝後、各先生の指導の元に一生懸命練習しています。発表会での天使の様な子ども達の姿に感動し、恵まれ、多くの兄弟達がイエス様を信じるように、心が開かれますようお祈りしています。そして、これからも子ども達がイエス様の教えを良く守り、命の大切さを知り、立派に成長し次世代の浪速教会の中心となる様に私達信徒一同は心より祈っています。



奉仕者の声

『 七分のーのパン 』

金 聖泰 牧師



浪速教会(愛の家)では週に二回、失業者の方々を教会に招いて伝道集会を開いています。礼拝の後にはボリューム満点の食事を提供します。しかし一度の食事でもいくら満腹になったとしても時間が経てば、またお腹が空きます。単純に一日に二食が

必要だとして計算してみると、一週間では十四食が必要です。そのうちの二回ですから一人の方が一週間に必要とする分量の七分のーを提供していることとなります。もちろん必要とする食事の量は個人差があるので、この数字はあくまでも目安にすぎません。

私にとってこの「七分のー」という数字はそれほど大きなものではないように感じられます。集会に来られる方々は食べることにに関して、それぞれ異なる事情を抱えていると思いますが、仮に浪速教会の集会でしか食事ができないとすると、残りの七分の六を満たせないまま一週間を過ごすというのはあまりにも過酷だからです。

大人数の食事を用意して提供するという、そしてそれを継続するという事は簡単なことではないので、これ以上食事提供を増やすことは難しいと思います。しかし集会に来られる方々の立場で考えると、残り十二回の食事の心配があるというのも現実だと思います。食べてもまたお腹が空くという無情な現実の前で、浪速教会の提供する食事は七分のー必要を満たすことしかできません。しかし聖書にあるように、「人はパンだけで生きるのではない」のです(申命記 8:3)。私は単純な計算では測ることのできないものが浪速教会の集会にあると信じています。それは「人と人が関わり合う」ということです。

浪速教会のスタッフは失業者のために集会や食事の準備をします。集会に来られる方々は何らかの必要をもって来られます。そこには浪速教会のスタッフとの関わり合いがありますし、来られた方同士の間に関わり合いがあります。

いつも座る場所が決まっている方々が再会し交わす言葉、初めて会った人と交わす言葉があります。礼拝で語られる言葉は一方向的に投げかけられているようにも見えますが、しかしどんな形であれ座っているということがある種の応答であると考えられることができます。提供される食事や様々な支援物資を通して伝わった思いが、アルミ缶という形で返ってくる場合があります。そういったことをひとつずつ考えると、毎週何気なく繰り返されている集会の中で実に多くの関わりが生まれているということに気付かされます。これらの関わりが空腹を満たすことはできませんが、明日への思いを募らせていると信じています。

申命記 8 章 3 節は「人は主の口から出るすべての言葉に生きる」と続きます。「主の口から出る言葉」とは、人間と神との関係をつくっていくものではないでしょうか。人間にはパンだけではなく様々な「関係」も必要だということを聖書は教えてくれます。

浪速教会の週 2 回の集会はわずかなパンしか与えられないかも知れませんが、その中で生まれる一つひとつの関わりが失業者の方々を力づけていでしょう。さらにその関わりは失業者のために奉仕するスタッフにも他では得ることのできない大きな力を与えていくと信じます。



奉仕者の声

『私と浪速教会の出会い』

伊藤房子



私は、子供の頃から父親が熱心な宗教家で「食べていけたら困った人を助けなさい。」と私に教え、この言葉を心の支えに今まで励みました。

浪速教会へ奉仕に行き始めたきっかけは、今は天国にいる中村泰教さんです。私が二十代の頃に共通の知人を通じて知り合いました。その後、私は結婚をして住吉区に住んでいるという事から、中村さんに「自分と同業の設計事務所で事務員を募集しているが、良かったらどうですか？」とご紹介していただいたのが、今勤めている会社です。

ある日突然、平成十九年八月二十八日会社に電話が有り、「市大病院に入院しています。」との連絡を受けました。

手術の前に、一度会いたいの事でした。不安は的中、ガンでした。本人も辛かった

と思います。手術の後、家族でお見舞いに行き諸事情を知りました。主人は、私に「病氣の人には勝てないからお世話をしてあげて下さい」と言いました。1ヶ月後退院し、その足ですぐ教会へ退院の報告に同行し、浪速教会の信者であり入信に至る話をされ、ご苦労されたのを知りました。毎月一回で良いから顔を見せて下さいと依頼され、六か月の約束が五年も伸びてしまいました。教会へ同行し、「せっかく来たのだから奉仕して帰るわ」が、奉仕の始まりです。

今の穏やかな生活は、中村さんに会ったお陰と言っても過言では有りません。私が奉仕することで、中村さんが教会にお世話になった恩返しが、少しでも出来れば幸いと思っています。奉仕しながら感じる事は、素直な心で奉仕するという事です。

良いことをすると良い結果、悪いことをすると悪い結果が生まれます。

借りたら返すという言葉に常に大切に心がけています。



伊藤さんは、肝っ玉かあさんです。真が通っていてひたすら真っ直ぐな方です。その通りに、いつも誰か困っている人がいないかと探しては手を差し伸べていらっしゃる方です。近頃は月に1~2回、教会に顔を出して下さいと、奉仕もしてくださいと。また、アルミ缶をワゴン車いっぱいになるくらいの量をご近所の方々に声をかけて集めて下さり、信徒たちにも実家からのお芋を蒸したりお菓子を差し入れて下さり、献品して下さいと。伊藤さんの心遣いと優しさに私たちは心から感謝しています。また、信徒の中にも伊藤さんから叱咤激励を受けて成長する兄弟もいます。

そんな伊藤さんを神様はとても愛されていると思います。私たちは伊藤さんがイエス様と出会って洗礼を受けて救われますように、私たちの神の家族となるようにお祈りしています。

第17回「愛の家」運営委員会の報告

- ◇ 日時：2014年4月15日(火) 午後2時
- ◇ 場所：浪速教会堂
- ◇ 運営委員：14名出席（委任2名）
森田幸男、李清一、森優紀慶、金鐘賢、全聖三、朴栄子、伊藤友彦、崔春子、大木正典、森元孝、金鍾権
- ◇ 決議事項
 - 1) 金安弘共同委員長の辞任により李清一牧師(韓国基督教会館名誉館長)を共同委員長に選任した。
 - 2) 2013年度決算、2014年度予算案を承認した。

特集

阪神タイガース マット・マートン選手

*マートン選手のチャリティ運動

8月29日 マートン選手のチャリティ運動が浪速教会「愛の家」、西成公園にて行われました。チャリティ・サイン会には信徒を含め180人が参加しました。多くのファンの皆さんが支援物資を持って参加され「愛の家」のホームレス支援活動を見学しマートンさんの話を聞きました。



*「愛の家」ボランティア活動に参加

10月24日(金)朝、マートン選手が「愛の家」に来て下さいました。朝一番連絡があり午前10時頃、5歳の息子さんと一緒に来ておにぎりとお味噌汁を作り、公園で路上生活者や参加者一人一人に笑顔で配って下さいました。24日は、阪神タイガースがクライマックス・シリーズで優勝して日本・シリーズが始まる一日前でした。忙しい日程の中の訪問に私達「愛の家」スタッフだけでなく多くの炊き出し参加者も驚きました。

特に5歳の息子さんが公園でおじいちゃん達に丁寧にチラシやプレゼント、おにぎりを配ってくれる姿を見て皆が感動を受けました。マートン選手との握手を多くの兄弟達が求めた時、一人一人と握手を交わし励まして下さいました。皆がマートンさんの訪問を大歓迎し「日本シリーズ頑張てね!」と励ましていました。皆驚きましたがホームレスの方や一人暮らしの兄弟達は彼との触れ合いによって勇気と力、大きな励ましを受けたと思います。私達浪速教会「愛の家」はマートンさんに感謝して彼のファンになりました。



「愛の家」会計決算書(2014.4～2014.11)

収入	14予算	14. 4-11	備考
定期後援会	800,000	488,100	61.0
一般後援会	1,900,000	1,237,840	65.1
クリスマス献金	1,000,000	16,500	1.7
食事献金	2,500,000	949,100	38.0
総会支援金	500,000	0	0.0
御米献金	360,000	87,700	24.4
小計	7,060,000	2,779,240	39.4
繰越金	873,882	873,882	
合計	7,933,882	3,653,122	46.0

支出	14予算	14. 4-11	備考
事務・備品費	730,000	99,700	13.7
交通費	100,000	1,000	1.0
車両維持費	300,000	2,540	0.8
奉仕者支援金	1,500,000	1,080,000	72.0
研修費	150,000	20,000	13.3
御米代	1,000,000	386,620	38.7
副食費	2,900,000	1,895,182	65.4
会議費	30,000	8,910	29.7
発送費	50,000	33,634	67.3
愛の家建築積立金	800,000	0	0.0
救済費	50,000	0	0.0
予備費	323,882	30,000	9.3
小計	7,933,882	3,557,586	44.8
繰越金		95,536	
合計	7,933,882	3,653,122	46.0

「愛の家」建築会計決算書(2014.4～2014.11)

収入	14予算	14. 4-11	備考
建築献金(国内)	2,000,000	362,260	18.1
建築献金(海外)	4,000,000	2,161,000	54.0
アルミ集会献金	200,000	188,968	94.5
教会建築積立金	800,000	240,000	30.0
愛の家築積立金	800,000	0	0.0
地方会支援金	600,000	350,000	58.3
福祉部屋献金	2,000,000	201	0.0
受け取り利子	0	362,260	
小計	8,400,000	3,302,429	39.3
繰越金	2,374,918	2,374,918	
合計	10,774,918	5,677,347	52.7

支出	14予算	14. 4-11	備考
銀行融資返済金	9,000,000	2,829,704	31.4
リフォーム工事代	500,000	176,801	35.4
募金交通費	300,000	0	0.0
諸経費	0	0	
福祉館会計貸出金	0	1,000,000	
予備費	974,918	0	0.0
小計	10,774,918	3,695,667	34.3
繰越金		1,981,680	
合計	10,774,918	5,677,347	52.7

負債現況(2014年11月30日現在)

教会堂「愛の家」センター建築

銀行融資金	8,720,000 円
教会債	0 円
合計	8,720,000 円



路上生活者支援のための クリスマス献金のお願い



主の御名を讃美致します。

御子イエスのお誕生を喜ぶ季節となりました。支援者の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことに感謝申し上げます。

4月、今も忘れることができない、修学旅行中に不幸な事件に巻き込まれ、多くの若い尊い命が失われたセウォル号事件。韓国全土が悲しみに打ちひしがれ、慰めの黄色いリボンを結びました。日本において、私たちが輝くばかりの若い尊い命が多く犠牲になってしまったことを悲しみ、主の御そばで慰められるよう、また残されたご家族に主からの癒しを願い、祈りをささげました。セウォル号事件の影響もあり、この夏は宣教チームの訪日が少なく、宣教チームの熱意と奉仕にいつも励まされる私どもにとって、さみしく、活気のない、短い夏となりました。

けれども、主は、私たちの活動にいつも必要なものを備えてくださり、週3回行われる炊き出し、日曜礼拝、木曜集会、また越冬対策の夜回りなど、すべてをつつがなく継続させてくださいました。その中で、今年も失業者の中から、主に出会い、残りの人生を主に新たにされて、主と共に歩む決心をされた方々が与えられました。

これも皆様のお祈りと尊いご奉仕のおかげだと存じます。どうぞ引き続き、私ども、浪速教会「愛の家」の支援活動を覚えてくださり、お祈りくださいますようお願い申し上げます。

現在、私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に3回行っております。金曜炊き出しには毎回約150人～250人、日曜礼拝や木曜集会にも常時100人近くの路上生活者が温かい食事を求めて並べられます。炊き出しの実際の経費として、毎週57,000円の支出があります。

(お米100kg・30,000円、副食費27,000円、合計57,000円)

力なく、小さな赤ちゃんとして私たちのもとへとおいでくださった主イエス様のお誕生を喜ぶこのとき。路上生活を強いられる方々に、御子イエスのお誕生の喜びと愛と希望を届けることができますように、クリスマス献金のご協力をよろしくお願い申し上げます。

「愛の家」事業：金曜炊き出し、木曜集会&日曜礼拝と食事提供、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、越冬夜間パトロール、生活用品収集分配

2014年度クリスマス献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、 定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、カイロ、食材、お米を送って下さい。

郵便振替： 00930-0-299392 在日大韓基督教会 浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、 Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2014年12月



在日大韓基督教会 **浪速教会「愛の家」**

共同委員長 森田 幸男 牧師

共同委員長 李 清 一 牧師

総 務 金 鐘 賢 牧師

献金者お名前(敬称略・順不同)

(2014年4月～2014年11月)

◆ 定期後援金

グット・サマリタン教会、古川富也、金景淑、金英姫、金鐘賢、大木正典、大阪東南教会、石井洋二、野津道代、横浜長老教会、長野教会(崔和植)、川島美恵子、村本瑛子、豊中第一復興教会、河内常男、匿名

◆ 一般後援金

権ヨニム、グット・サマリタン教会、シオン合唱団、シンヨソプ、チェスジョン、チェスイル、権ヨウンム、チェスジョン、チェフィイ、ホサナ教会、ホノルル教会、マツ・マートン、姜貞淑、京都第一教会、堺清水橋教会、高英順(金井)、関空伝道所、金大憲、金錦順、金英姫、金鐘賢、浪速教会、鈴木崇、朴栄子、釜山ヨンジェ教会、森田啓子、申容燮、慎静子、若林幸美、越野薫、伊藤友彦、南浦和教会、佐藤至英、洲本チャペル(ジム&ラ・スナイプ)、慎玉子、竹林、中島禎二、中川、中村礼子、池本 恵、澄川満喜子、川島美恵子、川上静子、村本瑛子、河内、韓国 cts、布施教会教会学校、ジョンジョンヒ、匿名

◆ クリスマス献金

川上静子、村本瑛子、申容燮

◆ 建築献金

平野竜一・真希、竹内 清、大木正典、村本瑛子、申容燮・清水のぞみ、森元孝・金英姫、金正煥、金鐘賢・姜貞淑、金斗賢・金善栄、久保賢太郎、片本武三、韓国イス中央教会、韓国群山豊山教会、韓国釜山蓮堤第一教会、韓国井邑充滿教会、関西地方会、ハワイホノルル韓人教会、グット・サマリタン教会(洲本チャペル)、匿名

◆ お米、お米献金

大井時子、島内敏子、小林 勝、神戸布引教会壮年会、元浦末浩、洲本チャペル、竹本、川上静子、村本瑛子、平野竜一・真希、慎オクザ、匿名

◆ 食材

アキヨシ介護、グッド・サマリタン教会、コモエスタ・沢 知恵、ホサナ教会、関西フードバンク、清水真一、大阪フードバンク、和田早苗、崔愛蘭、野津道代、匿名

◆ 衣類、生活用品

グット・サマリタン教会、ホサナ教会、伊藤房子、千石工務店、川島美恵子、武山泰子、豊中第一復興教会、匿名

「愛の家」センター 建築ニュース



2014年も間もなく過ぎようとしている11月末になりました。

2007年12月、教会堂「愛の家」センターを新建してから今年で7年になりました。

2007年、建築当時5,000万円の借金があり、ちゃんと返済していけるか心配もありましたが、皆様のご支援によって今現在670万円まで減りました。皆様の建築献金へのご協力に心より感謝申し上げます。

私達浪速教会「愛の家」は2015年12月まで「愛の家」センター建築借金返済を済ませる事を願っております。1年後には建築の借金の重荷がおろされ「愛の家」がますます熱意をもって路上生活者への宣教支援活動に取り組めるよう待ち望んでおります。

阪神タイガースの選手マートンさんが8月29日、10月24日(金)、忙しい日程の中、2回訪ねて「愛の家」の炊き出しのボランティア活動に参加してくださいました。多くの方々の支えと支援を頂き今年も今日まで支援活動を行うことが出来たことを感謝しております。

2015年度までに建築負債の返済が終わり、路上生活者への宣教支援活動に専念することができますよう、建築献金へのご協力お願い致します。

「愛の家」建築負債現状 (2014年11月28日現在)

負債	8,720,000 円
－残金	1,981,680 円
実際の負債	6,738,320 円

国内募金目標額: 300万円

- ①年1口5000円以上
- ②毎月1口1000円以上
- ③各教会、団体、組織別の建築献金
- ④遺産の寄付

発行責任者 金鐘賢・森優紀慶
発行所 「愛の家」広報部
〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3
浪速教会「愛の家」内
TEL 06-6561-4712(教会)
FAX 06-6561-4709(教会)
E-mail: ainoie@msn.com
ホームページ: www.ainoie.org
郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会
00930-0-299392